

目的

今後の高等教育機関の機能・役割、教育の在り方、振興策について審議を行う。

現状 ・ 課題

- 教学マネジメント指針等を踏まえた**教育改善の努力**を行っている大学と改善の努力が不十分な大学とに**二極化**しているとの指摘
- 中教審のみならず、各種政府会議や経済界等からも、初等中等教育から高等教育に至る**文理分断からの脱却**、**文理横断・文理融合教育**、**STEAM教育等の推進を提言**
- 学部における社会人学生（25歳以上）の数・割合ともに減少傾向であるなど、依然として**18歳中心主義**。学部入学する**留学生数も伸びていない**（更にコロナ禍で大幅な減少）
- 令和3年度の私立大学の入学定員充足率は初めて100%を下回り、**定員未充足の大学も増加**。近年の**新設大学・学部の状況を見ても定員未充足が多く**、学生確保の見通しが不十分なケースや、設置計画履行状況等調査において専任教員の確保など**教育の質に関わる指摘を受けるケース**も少なくない
- 社会人や留学生の受入れ拡大は、多様な価値観が集まるキャンパスを実現する上でも重要であるが、多様な学生の受入れ拡大のための諸施策を講じてもなお、今後、**大学進学者数が相当程度減少することは避けがたい**と考えられる
- 特に地方の大学は、大学進学者の数減少の影響をより強く受けることが想定されるが、今後、経営難に陥る大学が増大することになれば、**教育の質保証や学生保護等の観点からも問題**が生じることが懸念される

論点

- (1) 総合知の創出・活用を目指した**文理横断・文理融合教育**、ダブルメジャー、メジャー・マイナー等による**学修の幅を広げる教育の推進**、初等中等教育における学びの変化や**文理分断の改善**に対応した大学の在り方
- (2) 各大学において、密度の濃い主体的な学修を可能とする**学修者本位の教育の実現**、ディプロマ・ポリシーに定める卒業生の資質・能力を保証する「**出口の質保証**」が**徹底**され、社会との「信頼と支援の好循環」を形成する仕組みづくり
- (3) 大学の「**強み**」と「**特色**」を生かした**連携・統合、再編**等による地域における学修者の**アクセス機会の確保**や**学生保護の仕組みの整備**、国公私の役割等を踏まえた**高等教育の規模の在り方**

等

委員

- | | |
|---------------|-----------------------------------|
| 越智 光夫 | 広島大学長 |
| 永田 恭介 (◎部会長) | 筑波大学長、国立大学協会会長 |
| 日比谷 潤子 | 学校法人聖心女子学院常務理事 |
| 村岡 嗣政 | 山口県知事 |
| 村田 治 | 関西学院大学長、学校法人関西学院副理事長、私立大学連盟副会長 |
| 吉岡 知哉 (○副部会長) | 独立行政法人日本学生支援機構理事長 |
| 大森 昭生 | 共愛学園前橋国際大学学長 |
| 川嶋 太津夫 | 大阪大学スチューデント・ライフサイクルサポートセンター・センター長 |
| 小林 弘祐 | 学校法人北里研究所理事長、私立大学協会副会長 |
| 清家 篤 | 日本赤十字社社長 |
| 曄道 佳明 | 上智大学長、私立大学連盟副会長 |
| 古沢 由紀子 | 読売新聞東京本社編集委員 |
| 益戸 正樹 | UiPath株式会社特別顧問、株式会社肥後銀行社外取締役 |

○令和4年5月17日 大学分科会（第167回）

- ・大学振興部会の設置を決定

○令和4年6月17日 大学振興部会（第1回）

- ・部会長等の選任等
- ・文理横断・文理融合教育について

○令和4年7月11日 大学振興部会（第2回）

- ・大学からのヒアリング
九州大学（共創学部コンセプト・カリキュラム・成果 ～文理横断・融合教育の視点から～）
金沢大学（金沢大学における「文理横断・文理融合教育」の取組）
東洋大学（経済学部経済学科における数学必須入試）
大正大学（大正大学の共通教育科目について）

○令和4年8月9日 大学振興部会（第3回）

- ・経済団体等からのヒアリング
日本経済団体連合会（大学教育に関する経団連の考え方）
SMBCバリュークリエーション
（SMBCグループにおける生産性向上の取り組みと文理融合人材の重要性）
- ・文理横断・文理融合教育について

○令和4年9月7日 大学分科会（第169回）

- ・大学振興部会における議論について

○令和4年9月14日 大学振興部会（第4回） ※予定